

建物に  
快適パフォーマンスを。

2019年度 第104期

# IR通信

2019年4月1日~2020年3月31日

More Smoothly!

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2019年度の事業環境は、公共投資が堅調に推移し、民間設備投資も高い水準の企業収益を背景に増加したものの、受注競争の激化や労働者不足などが続く状況にありました。

また、年度終盤には、新型コロナウイルス感染が拡大し、事業への影響が懸念される状況にありました。

こうした中、当社グループは、中期経営計画〔2018~2020年度〕に基づき都市圏の事業拡大や営業・施工体制の強化、業務改革の推進等の諸施策を進めてまいりました。

また、新型コロナウイルス感染拡大の当年度事業への大きな影響はありませんでした。

以上の結果、2019年度の業績は以下のとおりとなりました。

売上高は、屋内電気工事や空調管工事を中心に当社の工事部門全てで増加したことなどにより前年度に比べ増収となりました。

営業利益は、売上高の増加に加え、原価管理の徹底や効率化施策による生産性向上などにより前年度に比べ増益となりました。

受取利息などの営業外損益を加えた経常利益は、営業利

益の増加により前年度を上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、M&Aに係るのれんの減損損失や投資有価証券評価損を計上したことなどにより前年度を下回りました。

今後の事業環境は、現時点で新型コロナウイルス感染拡大の影響が不透明であり、見通しが困難な状況にあります。

こうした中、当社グループは、社員とご家族、ステークホルダーの皆さまの安全確保を最優先に、グループ一丸となって事業を推進していく所存です。

このような状況のもと、当社グループは、中国地域におけるリニューアル工事の提案営業の強化、都市圏の営業基盤の拡充などを推進し、受注の確保・拡大を図ってまいります。

また、原価管理を徹底するとともに、ITの活用や業務改革等による更なる生産性の向上により、利益の確保・拡大に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも当社グループの事業に格別のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2020年6月



### 連結業績

(単位: 百万円、%)

区分	2018年度 [第103期]	2019年度 [第104期]	増減額	増減率
売上高	153,322	168,888	15,566	10.2
営業利益	6,486	8,333	1,846	28.5
経常利益	8,921	11,188	2,266	25.4
親会社株主に帰属する当期純利益	6,160	4,795	△1,364	△22.2

代表取締役会長  
小畑 博文  
Obata Hirofumi

代表取締役社長  
迫谷 章  
Sakotani Akira



# 連結決算 ハイライト

決算  
POINT

[ 増収・増益 ]

売上高は中電工個別の全ての工事部門で増加したことなどで増収、営業利益は売上高増加に伴う売上総利益の増加などにより増益

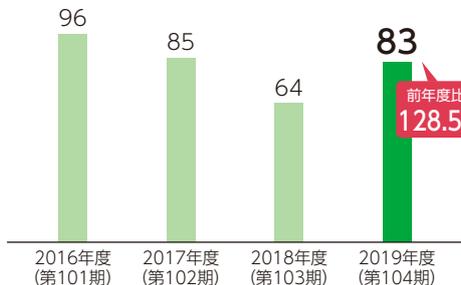
## 売上高

(億円)



## 営業利益

(億円)



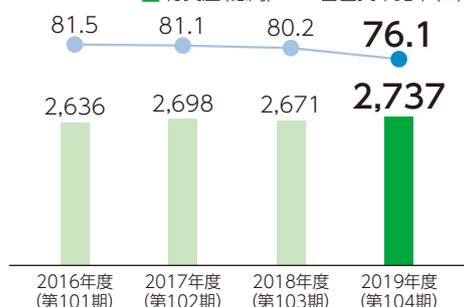
## 経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益

(億円)



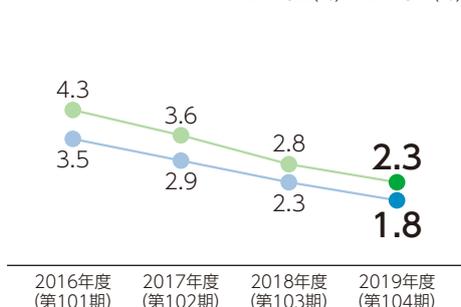
## 総資産／自己資本比率(※)

■ 総資産(億円) ● 自己資本比率(%)



## 自己資本利益率(ROE)／総資産利益率(ROA)

● ROE(%) ● ROA(%)



## 配当金／配当性向

■ 配当金(円) ● 配当性向(%)



(※)2017年度(第102期)については、会計基準の変更に伴う遡及修正を行っています。

	2016年度(第101期)	2017年度(第102期)	2018年度(第103期)	2019年度(第104期)
1株当たり当期純利益 (円)	160.20	139.61	110.22	86.13
1株当たり純資産額 (円)	3,844.92	3,909.09	3,855.67	3,739.30

## 工事種別受注高・売上高(個別)

受注高

1,462億円

売上高

1,493億円



売上高  
構成比

# 中期経営計画 (2018~2020年度) の状況報告

当社は、2020年度を最終年度とする3力年中期経営計画を推進しています。  
引き続き業務改革を推進し、中国地域の売上を確保しつつ、都市圏・海外の事業拡大を加速・強化して  
中長期ビジョン(2024年度・創立80周年)の実現に繋げていきます。

## I テーマ 「変革と成長を遂げる中電エグループへ」

## II 主要施策

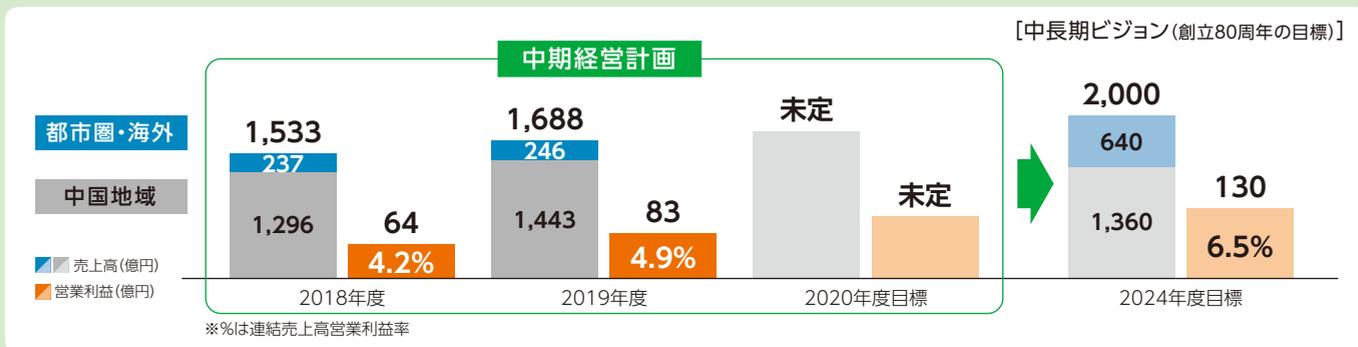
### 中期経営計画(2018~2020年度)

主要 施策	①受注の確保・拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中国地域における事業基盤の更なる強化</li> <li>○都市圏における営業基盤の拡充</li> <li>○海外グループ企業を基点とした海外事業の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リニューアル工事・提案営業の強化</li> <li>○地中線工事の拡大に向けた体制強化</li> <li>○成長戦略による事業拡大</li> </ul>
	②利益の確保・拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適正な原価管理の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資材調達力の向上</li> </ul>
	③業務改革・業務改善による生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現場業務の抜本的見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務外部化やIT等の新技術活用の推進</li> </ul>
	④活力を生む“人づくり”	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中電工協会と連携した現場力の強化</li> <li>○高度な専門性を備えた従業員の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワーク・ライフ・バランスの実践</li> </ul>
	⑤品質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電力安定供給への確実な貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お客様満足度の向上</li> </ul>
	新たな強化策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○工場工事の受注・施工体制の強化</li> <li>○大型工事(20億円以上)の受注・施工体制の強化</li> <li>○外部要因の適切な活用による原価低減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務改革・改善の効果の顕在化による生産性の向上</li> <li>○働き方改革の取り組みの加速</li> </ul>

数値  
目標(注) ○2020年度 連結売上高 未定、連結営業利益 未定

(注)現時点で新型コロナウイルス感染拡大の影響が不透明であり、業績予想の合理的な算定が困難であることから、数値目標は未定としております。

## III 数値目標(連結)



## IV 資本政策の具体策

### 1. 持続的な成長のための投資

事業の拡大や人材の確保・育成等、持続的な成長のために内部資金を活用することとし、300億円の投資枠を設定する。

- 台湾の洋上風力発電事業への出資参画
- M&Aにより(株)昭和コーポレーションをグループ化し、当社空調管工事部門との連携でシナジー効果を発揮
- 社員のレベルアップに繋がる人材育成の強化
- 協力会社への教育支援等による体制整備 など

### 2. 株主還元

持続的・安定的な配当を行うことを重視し、DOE(連結株主資本配当率)2.7%を目処に配当を行う。また、経営環境等を総合的に勘案したうえで、必要に応じて自己株式取得を実施する。

2019年度 実績

1株当たり配当金 **104円** DOE **2.8%**

2020年度 予想

1株当たり配当金 **104円**

# 施工実績



エディオン広島本店  
(広島県広島市)



屋内電気工事

空調管工事

情報通信工事

配電線工事

発送変電工事



雲南市立病院  
(鳥根県雲南市)



藤三広店  
(広島県呉市)



鳥取市役所  
本庁舎  
(鳥取県鳥取市)



ICTソリューション設備



架空配電線工事



地中送電線工事



# TOPICS

2019年  
9月

## 台風15号・19号災害復旧応援

9月8日から9日未明にかけて台風15号の暴風雨などで関東地方の各地が甚大な被害を受けたことにより、当社は中国電力からの要請を受け、中電工テクノおよび協力会社を含む計160名39班を災害復旧応援へ派遣しました。9月15日から千葉県木更津市を拠点に、各地で樹木伐採作業のための接地短絡取付・撤去作業、折損電柱改修などの復旧工事を行いました。

また、約1か月後に東日本に上陸した台風19号により、関東地方では再び甚大な被害が発生したため、当社や協力会社から計62名が被災地で復旧工事を行いました。



▲台風15号による災害復旧現場の様子

2019年  
10月

## 令和元年度優秀施工者国土交通大臣顕彰および澁澤賞を受賞

10月11日、吉野信司西ノ島出張所長が、優秀な技術・技能を持つ建設技能者に贈られる「令和元年度優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)」を受賞しました。

また、11月19日には、萩営業所の横山孝配電工事課長と島根統括支社の福田史樹配電工事課長が、配電線工事で使用する「引下線保持具II型」を日本安全産業と共同開発し、電気の保安に関して優れた貢献をした者に贈られる「第64回(令和元年度)澁澤賞」を受賞しました。



▲建設マスターを受賞した吉野所長



▲澁澤賞を受賞した横山課長(左)と福田課長

2019年  
11月

## 第57回技能五輪全国大会で銅賞を受賞

11月16日、愛知県常滑市で行われた「第57回技能五輪全国大会」の電工の部に、当社から広島県代表として5名の選手が出場しました。全国から集まった46名が競技に臨んだ結果、磯川尚杜選手と広瀬正和選手の2名が銅賞を受賞しました。



▲銅賞を受賞した磯川選手(左)と広瀬選手▲

2020年  
1月

## ニューイヤー駅伝14位と健闘

1月1日、群馬県で行われた第64回ニューイヤー駅伝に24年連続で出場し、14位と健闘しました。特に、3区の主将相葉直紀選手は、区間新記録の快走により、TBSからTBS特別賞が贈られました。



▲区間新記録の相葉選手



▲14位でゴールする二岡選手

2020年  
2月

## 昭和コーポレーションをグループ化

2月3日、当社は、株式会社昭和コーポレーションをグループ化しました。それに伴い、広島商工会議所で記者会見を行いました。会見には当社迫谷社長、同社の藤井社長らが出席し、迫谷社長はグループ化の意義について「昭和コーポレーションは全国に拠点があり、工場関連工事に強みを持っていることから、当社が都市圏へ進出する際の協力会社の確保や情報の連携ができる」と説明しました。



▲グループ化について説明を行う迫谷社長(左)と藤井社長▲

## 会社概要 (2020年3月31日現在)

設立年月日	1944年(昭和19年)9月29日
資本金	34億8,190万5,850円
従業員数	3,379名
主要な事業内容	屋内電気工事、空調管工事、情報通信工事、配電線工事、発送変電工事の設計施工
本店	広島市中区小網町6番12号
主要な事業場	広島・岡山・山口・島根・鳥取統括支社、東京・大阪本部、電力建設所

## 株式の状況 (2020年3月31日現在)

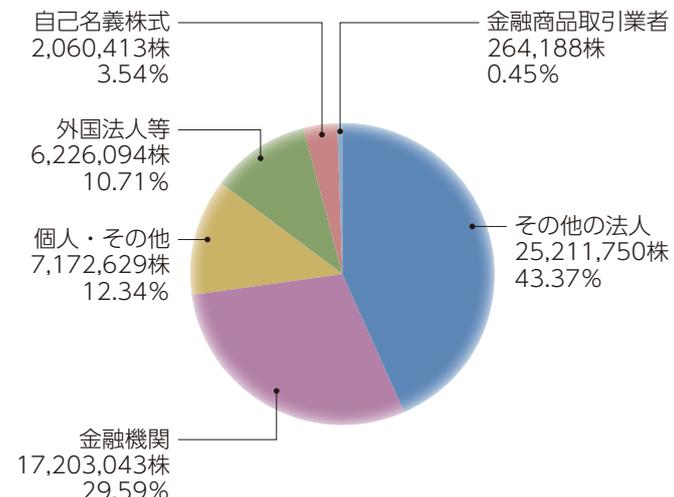
発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数	56,077,704株 (自己株式2,060,413株を除く)
株主数	6,608名

### 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
中国電力株式会社	21,892,259	39.03
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,417,700	4.31
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,804,700	3.21
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社もみじ銀行退職給付信託口)	1,673,900	2.98
株式会社中国銀行	1,398,619	2.49
株式会社山陰合同銀行	1,256,481	2.24
明治安田生命保険相互会社	1,129,465	2.01
株式会社広島銀行	1,036,180	1.84
株式会社山口銀行	1,000,279	1.78
中電工従業員株式投資会	986,601	1.75

(注) 当社は、自己株式を2,060,413株保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況 (2020年3月31日現在)



## 株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会開催時期	毎年6月中
同総会権利行使株主確定日	毎年3月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

### 同事務取扱場所・問合せ・郵便物送付先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話 0120-094-777 (通話料無料)

### 公告方法

電子公告により、当社ウェブサイト (<https://www.chudenko.co.jp/info/topic/news.html>) に掲載いたします。  
ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、広島市において発行する中国新聞並びに日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所

## 重要なお知らせ

### 特別口座の株主さまへ

株券電子化により、すべての上場会社の株式は、証券会社等の口座で電子的に管理されるようになりました。株券電子化移行時点で、証券会社を通じ株券を「株式会社証券保管振替機構」に預けられていなかった株式、あるいは単元未満登録株式等株券が発行されていない株式など、証券会社の株主さまの口座で電子的に管理されなかった株式は、株主権保護のため、当社が株主さま名義で三菱UFJ信託銀行に開設した特別口座にて電子的に管理しています。

しかしながら、特別口座に記録された株式は、このままでは証券市場での売却等ができないばかりか、相続手続きが煩雑になるなどの制約がございます。

つきましては、次の当社特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へご連絡のうえ、「口座振替申請」のお手続きを行っていただきますようお願いいたします。

### 特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
☎ 0120-094-777 (通話料無料)

### 単元未満株式(100株未満の株式)をお持ちの株主さまへ

当社の株式は、100株が1単元(売買単位)となっており、100株に満たない株式(単元未満株式)は、市場で売却することができません。

単元未満株式は、当社に対して買取請求(売却する)、または買増請求(買い増して100株にする)ができますので、ご検討いただけますようお願いいたします。

### 【お問い合わせ・ご請求先】

① 証券会社に単元未満株式をご所有の株主さま  
株主さまの口座がある証券会社

② 特別口座に単元未満株式をご所有の株主さま  
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
☎ 0120-094-777 (通話料無料)

**ご注意** このお知らせは、口座振替申請・買取請求等を強制するものではありません。本手続きに際しましては、株主さまご自身でご判断くださいますようお願いいたします。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



環境にやさしい植物油インキ  
(ベジタブルインキ)を使用  
しています。